

デバイス管理の改善で業務効率を改善する
スマホ、タブレット、ノートPC・・・
増えすぎたデバイスの管理を
簡単にするLCMの視点



はじめに

デバイス管理がもたらす負担

現在、企業活動においてPCやスマホ、タブレットなどのIT端末の使用は必須となっています。一方で、増え続ける端末の管理が社内の情報システム部の大きな負担となっている現状を、課題ととらえている企業は多いようです。

しかし、デバイス管理は企業のIT資産を確立させ、業務効率化や生産性向上にもつながる重要な任務だといえます。

本資料では、デバイス管理の負担を解説するとともに、IT資産管理をスムーズにするテクバンのLCMサービスや、導入企業が増加している各種のデバイス管理ツールをご紹介します。ぜひ、デバイス管理・IT資産管理にお役立てください。

INDEX

はじめに	1	第3章 LCMと同時に検討したい、デバイス管理ツール	
デバイス管理がもたらす負担		1. ID管理で利便性とセキュリティを高める	18
第1章 企業が活用する“デバイス”の管理が情シスの負担になっている		2. 資産管理で情シスの負担を低減	19
スマホ、ノートPC、デスクトップPC、マルチデバイスは当たり前	4	3. デバイス管理でセキュリティ対策を高度化し、アクセス制御も実現	20
デバイスの管理、調達の手間暇が大きな負担に	5	おわりに	21
デバイスは購入しておしまいではなく、廃棄、リプレイスまでが重要	6	最新のセキュリティ対策とデバイス管理	
見えないデバイスがセキュリティリスクに	7	企業情報	
第2章 デバイスを管理するテクバンの“LCM”			
導入からリプレイスまで一元管理する	9		
LCM 4つのフェーズ 1 企画	10		
LCM 4つのフェーズ 2 構築	12		
LCM 4つのフェーズ 3 運用保守	13		
LCM 4つのフェーズ 4 廃棄撤去 リプレイス	15		